平成２６年度
男女共同参画に関する市民意識調査

【 アンケートご協力のお願い 】

日ごろから市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

佐賀市では、男女共同参画社会（男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会）の実現をめざして取り組みを進めております。

このたび、男女共同参画に関する日常生活の実態や住民の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の取り組みに向けた基礎資料とするために調査を実施いたします。

このアンケートは、佐賀市にお住まいの１６歳以上の方から無作為に抽出した2,300人の方にお送りしています。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありませんし、他の目的のために使うことはありません。また、お名前を記入していただく必要もございません。なお、結果の概要については、佐賀市ホームページ等にて公表いたします。

アンケートのご回答には、１０分程度の時間を要すると思われますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成２６年7月

佐賀市長　　秀島　敏行

〔ご記入にあたってのお願い〕

１．アンケートは、**封筒のあて名の方 ご本人が** 記入してください。

２．回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる番号に○をつけてください。

３．回答はすべて任意になっております。答えられる質問に、答えられる範囲でお答えいただければ結構です。

４．ご記入が終わりましたら、**7月１８日（金）までに** 同封の返信用封筒に入れて、返送してください。（切手を貼っていただく必要はありません。）

５．アンケートについて、不明な点やご質問がありましたら、お問い合わせください。

【 問い合わせ 】

佐賀市 企画調整部 男女共同参画課　　（担当）中島・松尾

ＴＥＬ ４０－７０１４ ／ ＦＡＸ ２９－２０９５

あなた自身についておうかがいします

それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

Ｑ１　あなたの性別をお答えください。

１　女性　　２　男性

Ｑ２　あなたの年代をお答えください。

１　１０歳代　　２　２０歳代　　３　３０歳代　　４　４０歳代
５　５０歳代　　６　６０歳代　　７　７０歳代

Ｑ３　あなたは結婚されていますか。

１　結婚している（事実婚を含む）　　２　結婚したが離別・死別　　３　結婚していない

※ 結婚している方にお尋ねします。

Ｑ４　共働きをしていらっしゃいますか。（パートや内職を含む）

１　している　　２　していない

Ｑ５　あなたの家族構成をお答えください。

１　ひとり暮らし　　２　夫婦のみ　　３　親と子ども（二世代家族）
４　親と子どもと孫（三世代家族）　　５　その他（具体的に　　）

結婚や家庭生活についておうかがいします

問１　あなたは結婚・家庭についてどのように考えますか。次のＡ～Ｃについてあなたの考えに近いものを１つ選び、その番号（１～５）に○をつけてください。

	賛成	いえばどちらかと賛成	いえばどちらかと反対	反対	わからない
Ａ 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
Ｂ「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思う	1	2	3	4	5
Ｃ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5

問２　家庭での役割分担について、あなたはどう思いますか。

①　あなたは次のＡ～Ｅについて、誰がその役割を行うべきと思いますか。あてはまるものを１つ選び、その番号（１～５）に○をつけてください。

	主に妻（母）	主に夫（父）	妻と夫（母と父）が同じ程度に分担	家族全員	その他
A 家計を支える（生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5
B 炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5
C 子育てや介護など家族の世話	1	2	3	4	5
D 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5
E PTA 活動などの学校行事への参加	1	2	3	4	5

②　あなたの家庭では、次のＡ～Ｅについて、実際に誰がその役割を行っていますか。あてはまるものを１つ選び、その番号（１～５）に○をつけてください。

	主に妻（母）	主に夫（父）	妻と夫（母と父）が同じ程度に分担	家族全員	その他
A 家計を支える（生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5
B 炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5
C 子育てや介護など家族の世話	1	2	3	4	5
D 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5
E PTA 活動などの学校行事への参加	1	2	3	4	5

問３　あなたは、１日に平均してどれくらいの時間を家事（育児・介護を含む）にかけていますか。次のＡ・Ｂについて、それぞれあてはまるものを１つずつ選び、その番号（１～６）に○をつけてください。

	全くしていない	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上
A 平日	1	2	3	4	5	6
B 休日	1	2	3	4	5	6

問４　仕事と生活についてお尋ねします。あなたは何を優先したいですか。次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

※「地域・個人の生活」とは、自治会などの地域活動、個人の趣味や自己啓発などをさします。

1　仕事　　2　家庭生活　　3　地域・個人の生活

問５　それでは、あなたは現実に何を優先していますか。現実（現状）に近いものを次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）
※「地域・個人の生活」とは、自治会などの地域活動、個人の趣味や自己啓発などをいいます。

1　仕事　　2　家庭生活　　3　地域・個人の生活

教育・子育て・介護についておうかがいします

問６　あなたは、子どもの育て方について、どのような考えをお持ちですか。次のＡ～Ｆそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものの番号（１～５）を１つ選び、その番号に○をつけてください。子どものいない方も、あなたがどう思われるかでお答えください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
A 女の子も男の子も、経済的に自立できるように育てたほうがよい	1	2	3	4	5
B 女の子も男の子も、炊事、掃除、洗濯など、生活していくために必要な技術を身につけるように育てたほうがよい	1	2	3	4	5
C 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てたほうがよい	1	2	3	4	5
D 女の子も男の子も、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てたほうがよい	1	2	3	4	5
E 女の子も男の子も同じ程度の学歴を持たせたほうがよい	1	2	3	4	5
F 女の子、男の子に限らず、好きな仕事を選ばせたほうがよい	1	2	3	4	5

問７　わが国では近年少子化傾向にありますが、その理由は何だと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から３つ以内で選び、その番号に○をつけてください。

1　子育てのための経済的な負担が大きいから 2　子育てを支援するためのサービス（保育所・児童クラブ等）が不十分だから 3　配偶者の育児に対する協力が少ないから 4　生き方が多様化し、結婚・子育ての生活を選ばない人が増えたから 5　雇用の不安など、将来のくらしに希望が持てないから 6　その他（具体的に　　）

問８　あなたは、男女の望ましい協力関係をつくっていくために、学校教育の場でどのようなことに力を入れたほうがよいと思いますか。次の中から３つ以内で選び、その番号に○をつけてください。

1　男女平等の意識を育てる授業をする
2　生活面の指導や進路指導において、男女を区別せずに、子どもの興味（関心）や能力を尊重する
3　教師自身の男女平等についての意識を高めるような研修を行う
4　校長や教頭に女性を増やしていく
5　性教育を推進する
6　その他（具体的に　　）

問９　あなたは、男性が育児休業や介護休業をとることについてどう思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から３つ以内で選び、その番号に○をつけてください。

1　家族として当然である
2　自分自身の成長のためにも、とることが望ましい
3　職場環境を考えるととりにくい
4　収入が減ったり、無くなると困るのでとれない
5　育児や介護は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない
6　その他（具体的に　　）

問１０　最近、介護をするために転職、離職する人が増加していますが、何が原因だと思いますか。次の中から３つ以内で選び、その番号に○をつけてください。
※平成２４年 就業構造基本調査結果によると、過去５年で４８万７千人が介護離職しており、近年「介護と仕事の両立」が大きな課題になっています。

1　職場の上司や同僚に介護に対する理解がない
2　職場において介護休業などの制度が整備されていない
3　共働き家庭や単身者が増加しているため、家庭内に介護に専念する人がいない
4　介護サービスや施設などが整備されていない
5　介護と仕事を両立するための支援制度や相談窓口等の情報が得にくい
6　その他（具体的に　　）

職業生活についておうかがいします

問１１　あなたは、「女性が職業に就くこと」について、どう思われますか。あなたの考えに近いものを次の中から１つ選び、その番号に○をつけてください。

1　女性は職業に就かないで、家事に専念するほうがよい
2　結婚や妊娠・出産するまでは、職業に就いているほうがよい
3　出産・育児期間は一時退職し、子どもが成長したら再び職業に就くほうがよい
4　結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい
5　その他（具体的に　　）

問１２　あなたは、女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　結婚や妊娠・出産すると、仕事が続けにくい雰囲気が職場にある
2　昇進、昇格に男女格差がある
3　家事・育児・介護への家族の協力が不十分である
4　家事・育児・介護のための社会システムや施設等が不十分である
5　その他（具体的に　　）
6　特に障害はない

問１３　現在、女性が結婚や出産によって仕事をやめる場合がありますが、女性が再び仕事に就くために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　雇用の場を増やす
2　再就職のための講座や技術訓練等を充実させる
3　社会全体で「男は仕事・女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識をなくす
4　家族のための休暇がとりやすい職場を増やす
5　家族や夫の理解・協力を得る
6　保育施設や子育て支援サービス、高齢者介護の施設やサービスを充実させる
7　その他（具体的に　　）

問１４　あなたは現在職業に就いていますか。次のどちらかの番号に○をつけてください。

1　就いている（自営業・パート・内職を含む）

問１５　職業に就いている主な理由を次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　生計を維持するため
2　生きがいを得るため
3　自分の能力・技能・資格を活かすため
4　社会に貢献するため
5　その他
（具体的に　　）

問１７へお進みください（次ページ）

2　就いていない

問１６　職業に就いていない主な理由を次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　働きたいが仕事がないから
2　経済的に働く必要がないから
3　家事も立派な職業だから
4　育児や介護等のため
5　現在、学校に通っているから
6　定年退職したため
7　病気やけがなどのため、働ける状態ではないから
8　その他
（具体的に　　）

問２０へお進みください（次ページ）

※ 問１４で「１（職業に）就いている」と答えた方にお尋ねします。

問１７　① あなたは平均すると１週間に何時間働いていますか。２つ以上の仕事に就いている方はその合計でお答えください。ただし、仕事の休息時間は除きます。

② また、日数では週に何日働いていますか。（仮に、１日１～２時間でも働いていれば、１日と数えてお答えください。）下の枠の中に、それぞれ数字を記入してください。

①［　　］時間／週　　②［　　］日／週

問１８　あなたは、今どのような形で働いていますか。次の中から１つ選び、その番号に○をつけてください。

1　事業主
2　正規社員
3　非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど）
4　家族従事者（家業のお店や農林漁業などに従事）
5　その他（具体的に　　）

※ 問１８で「４ 家族従事者」と答えた方にお尋ねします。

問１９　家業に従事されていて、労働に見合う分の対価（給料）を受け取られていますか。次の中から１つ選び、その番号に○をつけてください。

1　受け取っている　　2　受け取っているが労働に見合う分ではない
3　受け取っていない　　4　わからない

※ 問１４で「２（職業に）就いていない」と答えた方にお尋ねします。

問２０　あなたは今後、職業に就きたいと思いますか。次の中から１つ選び、その番号に○をつけてください。

1　現在、職業を探している
2　将来は職業に就くつもりである

⇩

3　職業に就くつもりはない

⇩

問２３へお進みください（次ページ）

※ 問２０で「１ 現在、職業を探している」「２ 将来は職業に就くつもりである」と答えた方にお尋ねします。

問２１　あなたが働く場合には、どのような点を重視して仕事を選びますか。次の中から選び、その番号に○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　能力や技術、資格が発揮できる
2　収入がよい
3　会社の経営と雇用上の身分が安定していて、長く勤められる
4　家庭生活と両立できる
5　その他（具体的に　　）

問２２　もし、あなたが働くとすれば、どのような形で働きたいと思いますか。次の中から１つ選び、その番号に○をつけてください。

1　事業主
2　正規社員
3　非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど）
4　家族従事者（家業のお店や農林漁業などに従事）
5　その他　（具体的に　　）

健康・福祉についておうかがいします

問２３　あなたは次のようなことをどう思いますか。次の①・②それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを１つ選び、その番号に○をつけてください。

①　妊娠や出産、性感染症など女性の健康と権利について、学校、職場、地域、家庭などで配慮する必要があると思いますか。

1　配慮する必要がある　　2　どちらかといえば配慮する必要がある
3　どちらかといえば配慮する必要はない　　4　配慮する必要はない
5　わからない

②　妊娠や出産、性感染症など女性の健康と権利について、男女が理解し合うためには、どのようなことが大切だと思いますか。

1　配偶者やパートナー間の話し合い　　2　学校における女性の健康と権利に関する教育
3　性や健康についての相談窓口　　4　パンフレットなどによる情報提供
5　講座の開催などによる学習機会の提供
6　その他（ 具体的に　　）

問２４　あなたが「寝たきり」や「認知症」などにより、もしも在宅で介護を受けるようになった場合、誰に介護をしてもらいたいですか。次の中から１つ選び、その番号に○をつけてください。

1　配偶者　　2　息子　　3　娘　　4　息子の妻
5　娘の夫　　6　ヘルパーなど介護専門職
7　その他（ 具体的に　　）

地域活動についておうかがいします

問２５　あなたが自治会などの地域活動をする場合に、障害になるようなことがありますか。特に障害になると思われるものを次の中から３つ以内で選び、その番号に○をつけてください。

1	仕事が忙しすぎる	2	家事が手いっぱいで自由時間がない
3	精神的にゆとりがない	4	健康的・体力的に自信がない
5	家族の理解や協力が得られない	6	人づきあいがわずらわしい
7	どんな活動があるかわからない	8	地域活動にメリットを感じない
9	その他　（具体的に　　）		

問２６　防災・災害復興時において、男女共同参画に根ざした対応をとるためには何が必要だと思いますか。次の中から２つ選び、その番号に○をつけてください。
※東日本大震災時には、避難所でプライバシーが守られなかったり、共同作業の内容に男女で偏りが見られたりするなど、さまざまな問題が発生しました。

1	自治会等の地域の役員を男性も女性も積極的に担う
2	普段の地域活動において、性別だけで役割を決定しない
3	避難時に必要な知識や防災機材の取り扱い方等の研修会に男女ともに参加する
4	防災計画等の計画策定の段階から、男女双方の意見が反映できるような体制を整える
5	その他（具体的に　　）

人権についておうかがいします

問２７　あなたは新聞・雑誌・テレビなどメディアにおける性や暴力の表現についてどう思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを２つ選び、その番号に○をつけてください。

1	そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないようにする配慮が足りない
2	性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
3	女性や子どもに対する犯罪を助長する恐れがある
4	女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
5	その他（具体的に　　）
6	特に問題はない

問２８　最近、夫婦や恋人同士などの親しい間で、身体的・心理的な暴力を受けること（ドメスティック・バイオレンス＝ＤＶ）が問題となっていますが、あなたは、この５年以内に次にあげるようなことをしたり、されたりしたことがありますか。次のＡ～Ｇについてあてはまるものを１つずつ選び、その番号（１～４）に○をつけてください。

	されたことがある	したことがある	どちらもある	どちらもない
A 殴る、蹴る、物を投げる、物を壊す	1	2	3	4
B 怒鳴る、無視する、脅す	1	2	3	4
C 生活費を渡さない、高価な買い物を勝手にする、ギャンブルに入れこむ	1	2	3	4
D セックスを強要する、避妊に協力しない	1	2	3	4
E メール・携帯電話をチェックする	1	2	3	4
F 職業に就くことを許さない。	1	2	3	4
G その他（具体的に　　）	1	2	3	4

※ 問２８で１つでも「１ されたことがある」と答えた方にお尋ねします。
該当しない方は問３１へお進みください。

問２９　あなたはそのような行為を受けたとき、どうしましたか。次の中で、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1	我慢した	2	謝ったり、なだめたりした
3	家族・親族に相談した	4	友人に相談した
5	婦人相談所や市役所などの相談窓口に相談した	6	医師やカウンセラーに相談した
7	民間の支援グループに相談した	8	警察へ通報した
9	逃げた	10	別居した
11	離婚した	12	相談しようとは思わなかった
13	その他（具体的に　　）		

※ 問２９で 「１ 我慢した」や「12 相談しようとは思わなかった」と答えた方にお尋ねします。
該当しない方は問３１へお進みください。

問３０　それはなぜですか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。
（○はいくつでもかまいません）

1　どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから
2　恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3　相談しても無駄だと思ったから
4　相談したことがわかると、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから
5　自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから
6　世間体が悪いから
7　自分にも悪いところがあると思ったから
8　相談するほどのことではないと思ったから
9　その他（具体的に　　）

問３１　次のような行為はセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）ですが、あなたは、この５年以内に職場・学校・地域でしたり、されたりしたことがありますか。
次のＡ～Ｊについて、あてはまる番号（１～４）すべてに○をつけてください。

	されたことがある	したことがある	見たり聞いたりしたことがある	まったくない
A 「男のくせに根性がない」「女には仕事を任せられない」「女性は職場の花だ」など差別的な言葉を言う	1	2	3	4
B 「結婚はまだ？」「子どもはまだ？」としつこく言う	1	2	3	4
C 性的な冗談や質問、ひやかしの言葉を言う	1	2	3	4
D 異性関係が派手だなどと、性的な噂(うわさ)を流す	1	2	3	4
E 異性の同僚をじろじろ眺めたり、容姿を話題にしたりする	1	2	3	4
F ヌード写真やわいせつな本を飾ったり見せびらかしたりする	1	2	3	4
G 接待や宴会で、酌やデュエット、ダンスを強要する	1	2	3	4
H しつこくつきまとう	1	2	3	4
I さわる、抱きつく	1	2	3	4
J 地位や権限を利用して、性的関係を迫る	1	2	3	4

※ 問３１で１つでも「１ されたことがある」と答えた方にお尋ねします。
該当しない方は問３３へお進みください。

問３２　そのことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　上司・同僚に相談した
2　職場内の相談窓口に相談した
3　公的機関（労働局・県・市の相談窓口など）に相談した
4　民間の支援グループに相談した
5　家族・友人・知人に相談した
6　その他（具体的に　　）
7　誰（どこ）にも相談しなかった

問３３　あなたは、女性に対する暴力（性犯罪、売買春、パートナーからの暴力、セクシュアル・ハラスメントなど）をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　法律・制度の制定や見直しを行う
2　法律に盛り込まれた施策を十分に展開する
3　加害者を更生させる制度を整える
4　被害女性が安心して相談できる窓口を確保する
5　被害女性を保護するための施設を整備する
6　家庭や学校における男女平等や性についての教育を充実させる
7　職場における男女平等意識を徹底させる
8　その他（具体的に　　）

男女平等・男女共同参画社会についておうかがいします

問３４　あなたはこれまでに、男女平等や男女共同参画について話し合ったり学習したりしたことがありますか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでもかまいません）

1　友人との間で話し合ったことがある
2　夫婦や親子など家族の間で話し合ったことがある
3　佐賀市主催の研修会や公民館の講座などに参加したことがある
4　個人で学習したことがある
5　その他（具体的に　　）
6　ない

問３５　あなたは、男女共同参画に関する次の用語などを聞いたことがありますか。次のＡ～Ｅについて、あてはまる番号（１～３）にそれぞれ１つ○をつけてください。

	内容まで知っている	内容までは知らないが聞いたことがある	全く知らないし、聞いたことがない
A 佐賀市男女共同参画を推進する条例	1	2	3
B 佐賀市男女共同参画パートナーシップ21	1	2	3
C 4月14日 パートナーデー	1	2	3
D ジェンダー	1	2	3
E ワーク・ライフ・バランス	1	2	3

問３６　あなたは現在、次のＡ～Ｅの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに近いものを１つ選び、その番号（１～６）に○をつけてください。

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
A 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
B 職場で	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
D 地域や社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
E 就職・採用の際に	1	2	3	4	5	6

ご自由にお書きください

男女共同参画について、ご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、具体的にお書きください。

～ご多用なところ、調査にご協力いただきありがとうございました～

同封の返信用封筒にこのアンケート票をお入れいただき、ポストに投函してください。
切手は貼らなくて結構です。

佐賀市 企画調整部 男女共同参画課

一人ひとりの個性を大切に

本当にしたいことは何ですか
心から感じるものは何ですか
大人も子どもも　お年寄りも若者も
自分らしく生きることのできる社会であるために
「男だから…」「女だから…」と思うのを
やめてみませんか

４・１４ パートナーデー
Partner day

佐賀市では女性も男性もよきパートナーとしてやさしく認め合い、イキイキと暮らすことのできる社会をめざしています。

そこで、２月１４日のバレンタインデー、３月１４日のホワイトデーにちなんで、４月１４日を“パートナーデー”とし、お互いを大切に思いやり、家族や友人・職場の同僚など、あなたの大切な人に感謝の気持ちを伝える日としています。

メッセージカードを同封していますので、日ごろ言えない「感謝の心」を、カードに綴って贈ってみてはいかがですか。